

～ごみ処理施設では国内初の試み～

川崎重工業株式会社と

「ごみ処理施設における脱炭素化技術」実証試験
に関する協定を締結します



ターゲット 11

令和5年3月9日

郡山市環境部

3R推進課

課長 小野 浩幸

TEL：924-2181

SDGs ターゲット11.6 「2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。」

川崎重工業株式会社（本社：東京都港区、兵庫県神戸市 代表取締役社長：橋本 康彦）様と富久山クリーンセンターにおいて「ごみ処理施設における脱炭素化技術」実証試験を実施するにあたり、協定書の締結式を行います。

今回、実証試験として行う川崎重工業株式会社様が保有する「固体吸収法」によるCO₂の分離回収方法は、ごみ処理施設では国内初の試みです。

【締結式】

- (1) 日時 令和5(2023)年3月16日(木) 午後2時から
- (2) 場所 市役所庁議室(本庁舎2階)
- (3) 出席者 川崎重工業株式会社

執行役員 プラント・化繊・シヨウ長	眞田 健司 様
環境プラント統括部 統括部長	内田 博之 様
東北支社 支社長	今井 基久 様
環境プラント営業部 部長	壺田 智明 様
環境プラント統括部 担当部長	竹田 航哉 様
環境プラント営業部 担当課長	嵯峨 雄輔 様

郡山市長

品川 萬里

【協定内容】

国は、2021年8月に策定した「廃棄物・資源循環分野における2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた中長期シナリオ」の中で、これまで実施している発電などによるエネルギー回収に加え、排ガス中のCO₂を分離回収する技術の開発により、温室効果ガス排出ゼロを目指すとしています。

本市は、富久山クリーンセンターのプラントメーカーである川崎重工業株式会社様と連携し、「カーボンニュートラルシティ郡山」の実現に向け、排出ガス中のCO₂を分離回収する「ごみ処理施設における脱炭素化技術」の実証試験を同クリーンセンターで実施する。詳細は裏面参照のこと。

1 ごみ処理施設における脱炭素化技術実証試験

【目的】 クリーンセンターの温室効果ガス排出ゼロを目指す

【場所】 富久山クリーンセンター

【内容】 本市焼却施設プラントメーカーの川崎重工業(株)と連携し、
[ごみ処理施設では国内初となる「固体吸収法により排ガス中のCO2を分離回収する実証試験」](#)を実施する。

2 背景

【国】 2021年8月に「廃棄物・資源循環分野における2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた中長期シナリオ」を策定。

焼却せざるを得ない廃棄物について、エネルギー回収と[※]CCUSによる炭素回収、利用を徹底し、2050年までに廃棄物分野における温室効果ガス排出をゼロにすること目指している。

※CCUC：二酸化炭素の回収・有効利用・貯蔵のこと

3 実証試験スケジュール

	2023	2024	2025	2026	2027
評価試験	→				
実証試験			→		

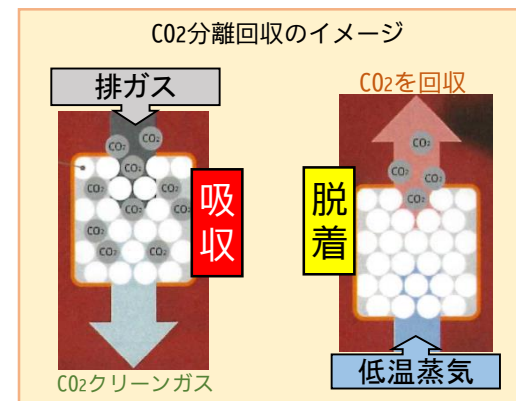
評価試験：固体吸収材の排ガスへの適用性を評価

実証試験：小型実証試験設備を用いたCO2分離回収性能等試験

4 実証試験の概要

川崎重工業(株)が行う固体吸収法

排ガスを固体吸収材に接触させてCO2を吸収し、60℃の低温蒸気でCO2を脱着する技術



5 川崎重工業(株)との協定について

本実証試験実施について連携、協力する。

【内容】

- (1) 相互の情報、技術等知的資源の活用に関すること。
- (2) CO2分離・回収技術の実証事業に関すること。
- (3) その他連携を推進するために必要な事項に関すること。



郡山市



Kawasaki
Powering your potential

協定締結日程：3月16日